

STAR

ブロードカスター

取扱説明書・部品表

製品コード K30974
型式 **TBC17000**

製品コード K30987
型式 **TBC23000**

部品供給型式 TBC17000-04

- ・部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡下さい。
- ・補用部品の一部には、まとめ・セット販売のみの部品があります。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社



▲ 安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、▲印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

▲ 危 険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

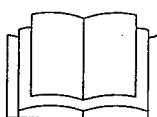
▲ 警 告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

▲ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

▲ 注意



本機を運転するときには、必ず取扱説明書をお読みください。

1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
2. 酒を飲んだとき、過労ぎみ、病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ず PTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貰うときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。

▲ 注意



散布作業中飛散物が当たり、
ケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないで下さい。

部品番号 1065360000

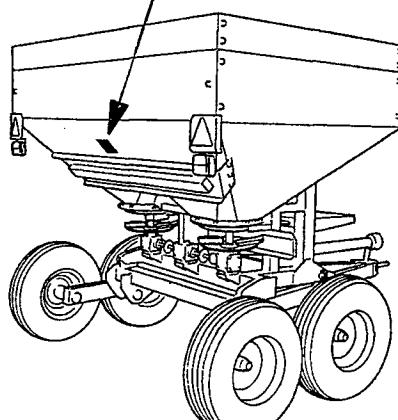
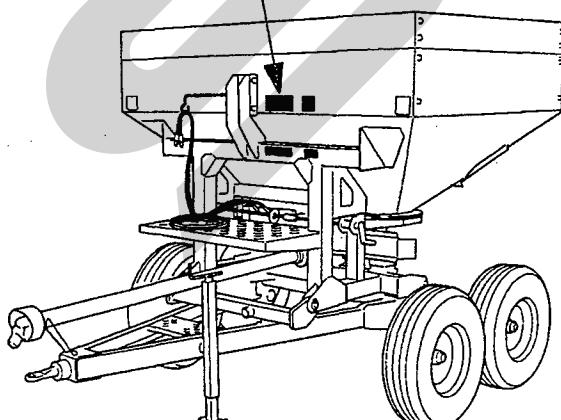
▲ 警 告



運転中又は回転中、スピナードーに接触すると巻き込まれ、ケガをすることがあります。

周囲に人を近づけないで下さい。

部品番号 106418



－ ラベルが損傷した時は －

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大切なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- ヘルメットを必ず着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬいため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは当社指定製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、周囲に人がいると、思いがけない原因でトラクタや作業機が動き出し、事故を起こす事があります。周囲に人がいない事を確かめてから行ってください。
- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。
- エンジンを始動する時、主变速レバーを「N」(中立)にして行わないと、变速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主变速レバーを「N」(中立)にして行ってください。

- エンジンを始動する時、PTOを切らないで始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。
PTOを切ってから始動してください。
- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。
- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。
窓、戸などを開け、十分に換気してください。

作業機を連結する時は

▲警告

- 作業機を連結するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。
トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。
- ▲注意
- 作業機をトラクタに連結する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタに連結する時、輪止めをせずに行うと、連結のショックにより作業機が不意に動き出し、事故を起こす事があります。
連結する時は、作業機の車輪に輪止めをしてください。
- 連結するトラクタによつては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、事故を起こす事があります。
トラクタヘフロントウェイトを取り付け、バランスを取ってください。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
損傷したらすぐに取り替えてください。
使用前には、損傷がないか点検してください。
- パワージョイントを装着する時、エンジンをとめずに行つと、思いがけない原因でパワージョイントが回転しケガをする事があります。
エンジンをとめて行ってください。

- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。

トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

- パワージョイントの重なり量が適正でないと、パワージョイントやP I C軸が破損し、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まつていないと、使用中に外れ、ケガをする事があります。
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の連結禁止

▲注意

- トラクタに作業機を連結して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。
トラクタに作業機を連結しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになつて、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。
トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり思わぬ事故を起こす事があります。
急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎる
と、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。低速走行してください。
- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくれるため、周囲の人に接触しケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをする事があります。
周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保つて行ってください。

- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こす事があります。
路肩は走行しないでください。
 - 高低差が大きい段差を乗り越えようとすると、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。
あゆみ板を使用してください。
 - 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。
作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- ▲注意**
- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。
移動走行する時はP TOを切ってください。

作業中は

作業する時は

- ▲警告**
- 運転中又は回転中、スピナーに接触するとに巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
 - 作業機指定のP TO回転数を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。
指定回転数を守ってください。
 - 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。
作業機の上には、人や物などはのせないでください。
 - 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
 - わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができるず、思わぬ事故を起こす事があります。前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。
しっかりとハンドルを握って運転してください。
- ▲注意**
- 散布作業中、飛散物が当たりケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
 - 肥料の投入をする時、エンジンをとめずに、あるいは、駐車ブレーキをかけずに行うと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいは、トラクタや作業機が動き出し、ケガをする事があります。
エンジンをとめて、駐車ブレーキをかけて行ってください。
 - 運転中又は回転中、P I C軸に接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。
手を入れないでください。
 - 調整や、付着物の除去などをする時、エンジンをとめずに、あるいは、駐車ブレーキをかけずに行うと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいは、トラクタや作業機が動き出し、ケガをする事があります。
エンジンをとめて駐車ブレーキをかけて行ってください。

トラクタから離れる時は

- ▲警告**
- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。

作業が終わったら

— 作業後の手入れをする時は —

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

— 終業点検の励行 —

▲危険

- パワージョイントを外す時、エンジンをとめずに行うと、思いがけない原因でパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。
エンジンをとめて行ってください。

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずにいると、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
切り離す時は、必ずスタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。
- 点検整備をする時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出し、事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 点検整備をする時、エンジンをとめずに、あるいは、駐車ブレーキをかけずに行うと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいは、トラクタや作業機が動き出し、ケガをする事があります。
エンジンをとめて、駐車ブレーキをかけて行ってください。
- 作業をする時、カバー類を外して作業すると、ケガをする事があります。
点検整備の後は、カバー類を元通りに取り付けてください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に不調が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- 不調対応処置・点検・整備をする時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出し、事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 不調対応処置・点検・整備をする時、エンジンをとめずに、あるいは、駐車ブレーキをかけずに行うと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいは、トラクタや作業機が動き出し、ケガをする事があります。
エンジンをとめて、駐車ブレーキをかけて行ってください。
- 油圧の継手やホースにゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルでケガをする事があります。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- 作業をする時、カバー類を外して作業すると、ケガをする事があります。
不調対応処置・点検・整備の後は、カバー類を元通りに取付けてください。



安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	5
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		



1 トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	8	4 パワージョイントの装着	10
2 適応トラクタの範囲	8	1. 長さの確認方法	10
3 トラクタへの連結	9	2. 切断方法	11
		3. 安全カバーの着脱方法	11
		4. パワージョイントの連結	12



2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	13	2 エンジン始動での点検	13
1. トラクタ各部の点検	13	3 給油箇所一覧表	14
2. 連結部の点検	13		
3. パワージョイントの点検	13		
4. 製品本体の点検	13		



3 作業の仕方

1 本製品の使用目的	15	3 作業要領	16
2 作業のための調整	15	1. 肥料の投入	16
1. PTO回転数	15	2. 種子の散布	16
2. 敷布量の調整	15		
3. ブレードの調整	15		
4. シャッタの開閉	16		
5. 最大積載量	16		

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ17	3 長期格納する時17
2 トラクタからの切り離し17		

5 点検・整備について

1 点検整備一覧表18	2 電球の交換18
-----------	---------	---------	---------

6 不調時の対応

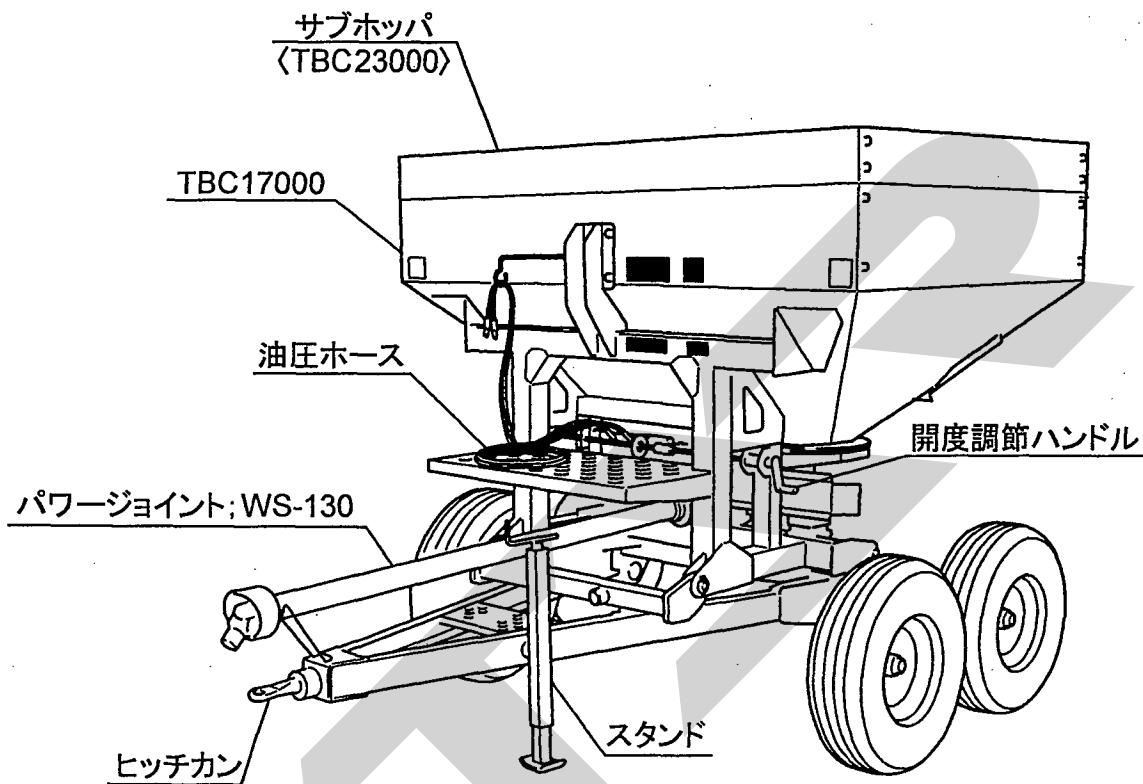
1 不調処置一覧表19
-----------	---------

7 部品表

1 トラクタへの装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



1. 開度調節ハンドル

肥料の散布時、散布量を調節するためのもので、無段階に設定できます。

2. パワージョイント

トラクタからブロードカスターの散布羽（ブレード）およびホッパ内のスクレーパを駆動します。

3. ヒッチカン

トラクタのドローバーに連結して使用します。

4. スタンド

トラクタから切り離す時に使用します。

5. 油圧ホース

トラクタ油圧取出部に接続し、シャッタの開閉に使用します。

2 適応トラクタの範囲

本製品は、適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるよう設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品の適応トラクタは次のとおりです。

型 式	適応トラクタ
TBC17000	44~88kW (66~120PS)
TBC23000	51.5~88 kW (70~120PS)

本製品の適応トラクタより小さなトラクタで使用すると、負荷に対し十分なパワーがないことがあります。

逆に、適応トラクタよりも大きなトラクタでの御使用は、過負荷に対し機体の適正値を超えたパワーが出来てしまい、作業機の破損の原因になることがあります。

3 トラクタへの連結

▲ 警告

- 作業機を連結するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲ 注意

- 作業機をトラクタに連結する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタに連結する時、輪止めをせずに行うと、連結のショックにより作業機が不意に動き出し、事故を起こす事があります。連結する時は、作業機の車輪に輪止めをしてください。
- 連結するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。トラクタへフロントウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

1. ドローバへの装着

- (1) トラクタのドローバの高さに作業機のヒッチの高さを合わせてください。
(スタンドのハンドルで調整してください。)
- (2) トラクタのエンジンを始動して、トラクタを後進させ、ドローバの連結点に作業機のヒッチカンの穴をあわせて、エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
- (3) トラクタ付属のヒッチピンを通し連結してください。

取扱い上の注意

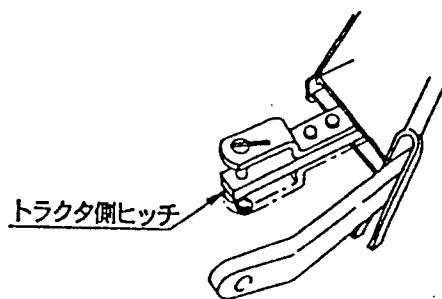
ヒッチピンは抜け止めのため、リンチピンあるいはベータピンを取り付けてください。

- (4) スタンドのハンドルを回していっぱいまで上げ、スタンドをたたんでください。
- (5) 作業機側の電装コネクタをトラクタ側のコネクタに装着してください。

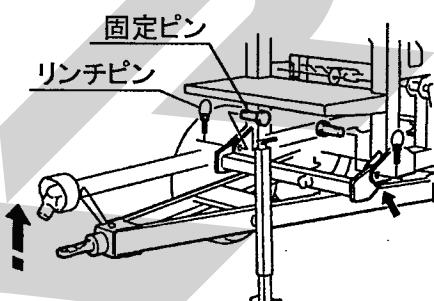
2. 作業機の高さ調整

連結時作業機が地面上後傾する場合は次の調整を行って下さい。

- (1) トラクタ側ヒッチ部の方向を組み替える。

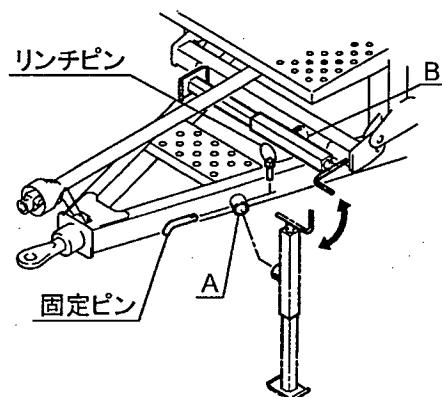


- (2) 作業機側の前側固定ピンを下の穴に差し換える。



3. スタンドのたたみ方

- (1) スタンドのハンドルを回していっぱいまで上げてください。
- (2) スタンドの固定ピンを抜き、スタンドをAからBの位置へ差し換えてください。
- (3) 固定ピンを挿入し、抜け止めにリンチピンを差してください。



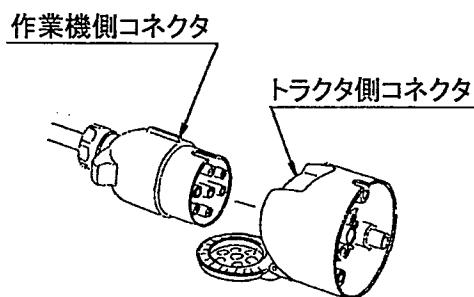
4. 電装の接続

取扱い上の注意

トラクタに電装品の結線をする時、エンジンキーをOFFにしないで行うとショートする事があります。
エンジンキーをOFFにして行ってください。

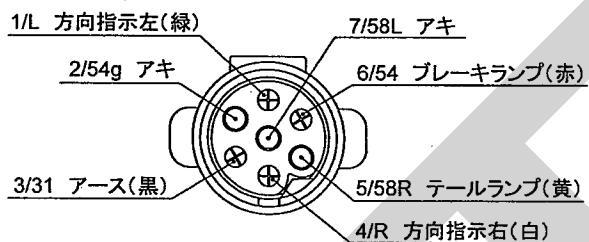
作業機にはトラクタと連動するテールランプを装備しています。

電装はトラクタとコネクタで接続します。トラクタ側の外部電装品取り出し口がDIN規格7Pコネクタで装備されている場合は、そのまま作業機側コネクタをトラクタ側コネクタに接続してください。

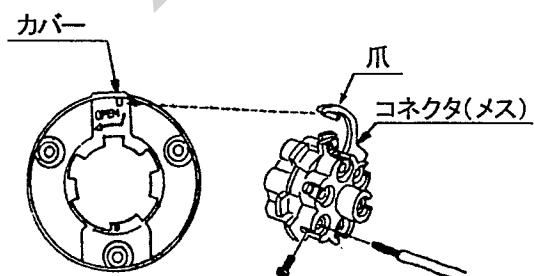


また、トラクタ側に外部電装品取り出し口が装備されていない場合は、別途トラクタ側コネクタの電気配線が必要となります。

作業機側コネクタの配線は下図の通りです。なお、コネクタは接続面方向から見ています。



- (1) トラクタ側コネクタのキャップを持ち上げ、作業機側コネクタから抜いてください。
- (2) トラクタ側コネクタの爪をはずし、反時計回りにまわすとコネクタがカバーからはずれます。
- (3) マイナス(-)ドライバーでネジを緩め、それぞれの端子にコードを配線し、締め付けてください。
- (4) 再度、カバーにはめ込み、時計回りにまわし、爪を掛けしてください。



- (5) トラクタ側コネクタは作業機と連結した時接続しやすい場所に取り付けてください。

4 パワージョイントの装着

▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。損傷したらすぐに取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- パワージョイントを装着する時、エンジンをとめずに行うと、思いがけない原因でパワージョイントが回転し、ケガをすることがあります。エンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをすることがあります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲ 注意

- パワージョイントの重なり量が適正でないと、パワージョイントやP I C軸が破損し、ケガをすることがあります。適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

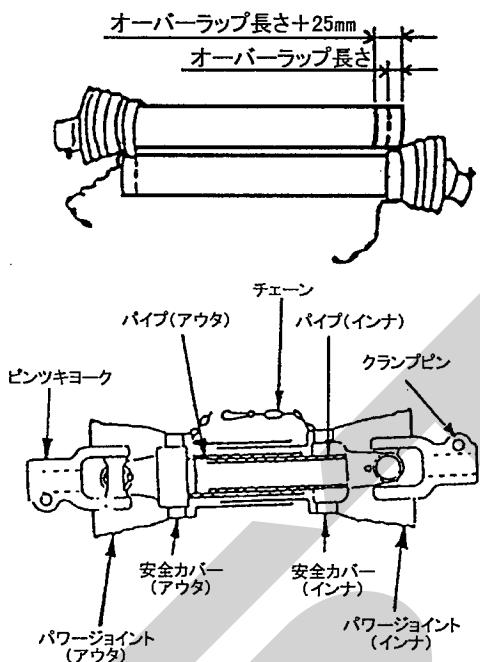
1. 長さの確認方法

- (1) 作業機をけん引しながら前進し、トラクタと作業機がほぼ一直線になった状態で停止してください。
- (2) パワージョイント(アウタ)から、パワージョイント(インナ)を引き抜いてください。
- (3) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸・P I C軸に連結し、クランプピンが元の位置に出るまで押し込んでください。
- (4) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ(アウタ)とパイプ(インナ)の重なり量が100mm以下の場合は、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。
- (5) PTOおよびP I C軸からパワージョイントのアウタとインナを取り外してください。
- (6) 作業機をけん引しながら旋回し、作業機ドローバー側面とトラクタ後輪の間隔が20cm程度になった時、停止してください。

- (7) ピンツキヨークのクランプピンを押して、パワージョイントをPTO軸、P I C軸に連結し、クランプピンが元の位置に出るまで押し込んでください。
- (8) 安全カバーどうしを重ね合わせた時、安全カバー（アウタ）と安全カバー（インナ）がオーバーラップした長さに25mmを加えた位置に印を付け、この印からカバー端部までの長さを切断方法の手順に従って切断してください。

取扱い上の注意

パワージョイントを上下に重ね合わせた時、トラクタ後輪に接触し、ほぼ直線上にならない場合は、作業機ドローバー側面とトラクタ後輪の間隔が広くなるようにトラクタを移動してください。



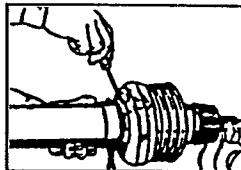
2. 切断方法

- (1) 安全カバーのアウタ・インナ両方を長い分だけ切り取ります。
- (2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。
- (3) パイプのアウタとインナ両方を金ノコまたはカッターで切断します。切断する時は、パイプの中にウエスを詰め、パイプ内面に切り粉が付着するのを防いでください。

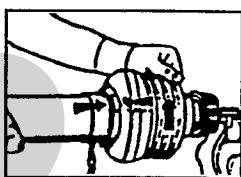
- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げてからパイプをよく清掃し、次にグリースを塗布して、アウタとインナを組み合わせます。

3. 安全カバーの脱着方法

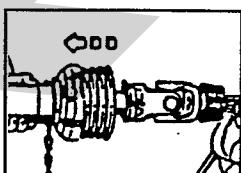
- (1) 安全の分解手順
① 固定ネジを取り外してください。



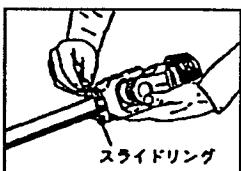
- ② 安全カバーを取り外し位置へ回してください。



- ③ 安全カバーを引き抜いてください。

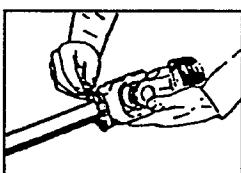
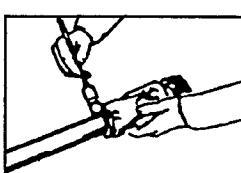


- ④ スライドリングを取り出してください。

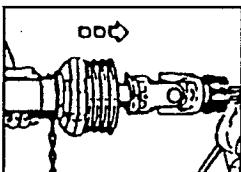


(2) 安全カバーの組立手順

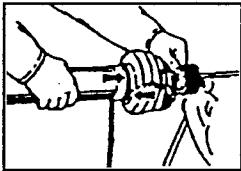
- ① ヨークのスライドリング溝とパイプ（インナ）にグリースを塗ってください。
② スライドリングのつばをパイプ側に向け、切口を開いて溝にはめてください。
③ その上に安全カバーをはめてください。



- ④ カバーをしっかりと止まるまで回してください。

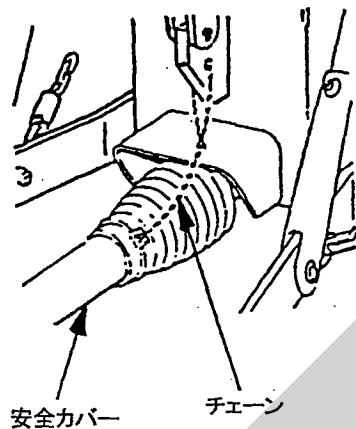


- ⑤ 固定ネジを締め付けてください。



4. パワージョイントの連結

- (1) ピン付ヨーク (パワージョイント；インナ)
のクランプピンを押してP I C軸に連結し、ク
ランプピンがもとの位置に出るまで押し込んで
ください。
- (2) ピン付ヨーク (パワージョイント；アウタ)
のクランプピンを押して、P T O軸に連結し、
クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んで
ください。
- (3) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付
け、カバーの回転を防いでください。
チェーンは3点リンクの動きに順応できる余
裕を持たせ、また他への引っかかりなどがな
いように余分なたるみを取ってください。



2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

トラクタのドローバと作業機のヒッチカンが、トラクタ付属のヒッチピンで連結され、リンチピンなどで抜け止めが確実にされているか。

不具合が見つかった時は、「1-3 トラクタへの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

3. パワージョイントの点検

- (1) ジョイントの抜け止めのクランプピンが、PTO軸、P I C軸それぞれの溝に納まっているか。
不具合が見つかった時は、「1-4 パワージョイントの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

4. 製品本体の点検

- (1) ハブナットにゆるみはないか。
ゆるみが見つかった時は増し締めしてください。
(2) タイヤの亀裂、損傷はないか。
また、タイヤの溝深さは適正か。異常摩耗はないか。
不具合が見つかった時は部品を交換してください。
(3) タイヤの空気圧は適正か。
不具合が見つかった時は表に基づき空気を補充してください。

型式	タイヤサイズ	空気圧
TBC17000	10/80-12-6PR	255kPa (2.6kg/cm ²)
TBC23000		

(4) 損傷部品はないか。
損傷部品が見つかった時は補修もしくは部品を交換してください。

(5) 各部の給油は十分か。
不具合が見つかった時は「2-3 給油箇所一覧表」の説明に基づき給油してください。

2 エンジン始動での点検

▲警告

●エンジンを始動する時、PTOを切らないで始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。
PTOを切ってから始動してください。

1. 駆動系統に異常はないか。

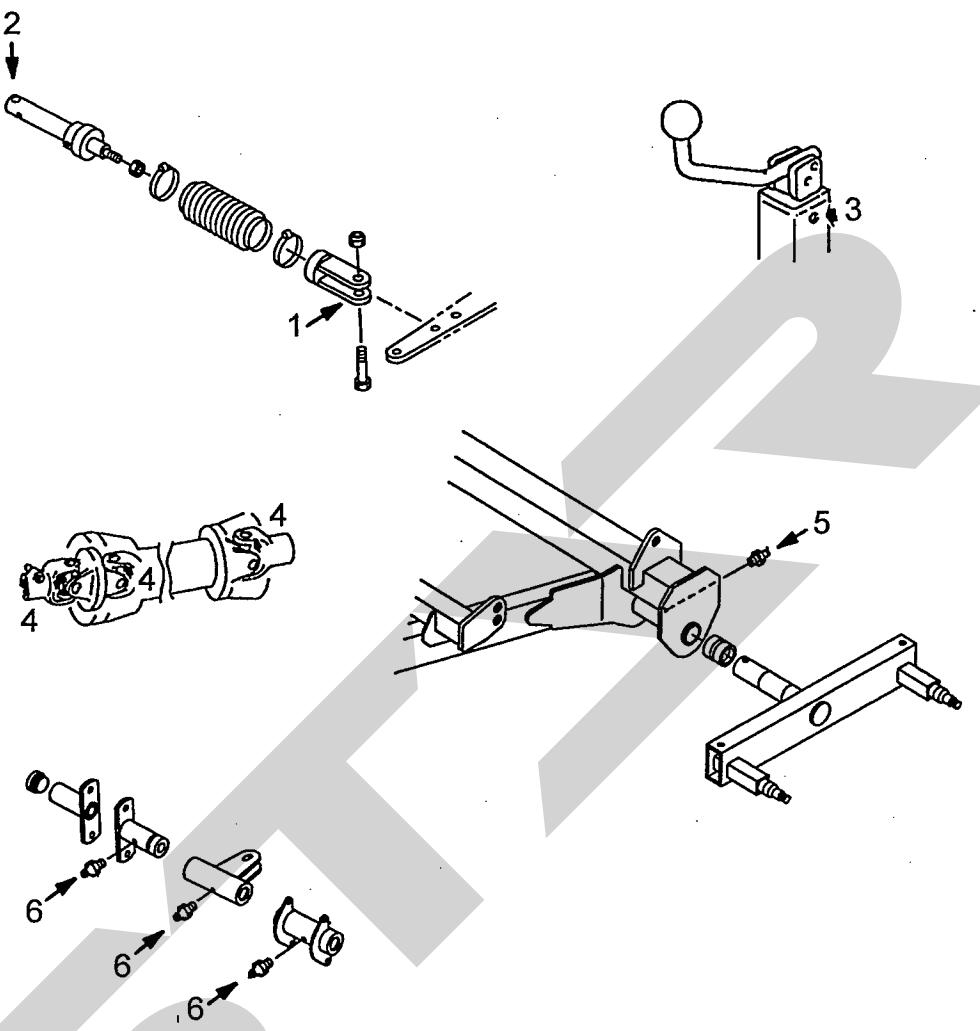
トラクタのエンジンをかけ、PTOを接続し、低速で回転させてください。

- (1) パワージョイントから作業機本体までに異常はないか。

不具合が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」に基づき不具合を解消してください。

3 給油箇所一覧表

- 給油・塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。

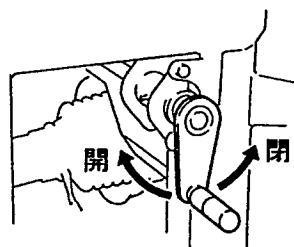


No.	給脂場所	箇所	潤滑油の種類	交換時期	量	備考
1	フォークエンド挿入部	3	オイル	使用毎	適量	注油
2	シリンダ回転部	1	"	"	"	"
3	スタンド	1	グリース	"	"	給脂
4	パワージョイント	2	"	"	"	"
5	車軸メタル	2	"	"	"	"
6	開度調整部グリースニップル	3	"	"	"	"

3 作業の仕方

1 本製品の使用目的

本作業機は粒状肥料(化成肥料など)、砂状肥料(ヨーリンなど)の散布及び增量剤とともに混合した牧草あるいは細粒種子の散布に使用します。
他の用途には使用しないでください。



2 作業のための調整

▲ 警告

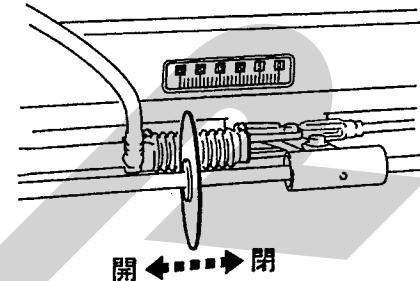
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをすることがあります。指定回転速度を守ってください。

1. PTO回転数

作業時における、常用PTO回転数は500rpmです。

2. 散布量の調整

散布量の調整は、機体左側にある開度調整ハンドルを回すことにより無段階に調整できます。
下記の表を参考にして開度を決めてください。



取扱い上の注意

- 散布の際、シャッタを開じたままPTOを回さないでください。
- 開度を調整する際は、シャッタを閉じた状態で行ってください。

(例) 化成肥料(粒状肥料)を10アール当たり50kg散布したい場合、下記開度の目盛に合わせて作業してください。

トラクタ速度 6km/hrで開度14
トラクタ速度10km/hrで開度20

開度別散布量

トラクタ速度に応じた散布量

(単位:kg/10a)

肥 料	散布幅	速 度	開度 5	10	15	20	25
粒 状	20m	10km/hr	7	20	38	53	57
		6km/hr	11	33	63	88	95
砂 状	10m	10km/hr	31	94	158	—	—
		6km/hr	52	157	—	—	—

3. ブレードの調整

片寄りのない均一散布を行うため、ブレードの角度を調節できる構造となっています。

(1) 肥料の種類

- ① 粒状肥料(例:化成肥料等)
- ② 砂状肥料(例:ヨーリン等)

(2) 調整方法

- ブレードを固定しているディスク外側のボルトをはずします。
- 粒状肥料、砂状肥料の基本的な散布位置に

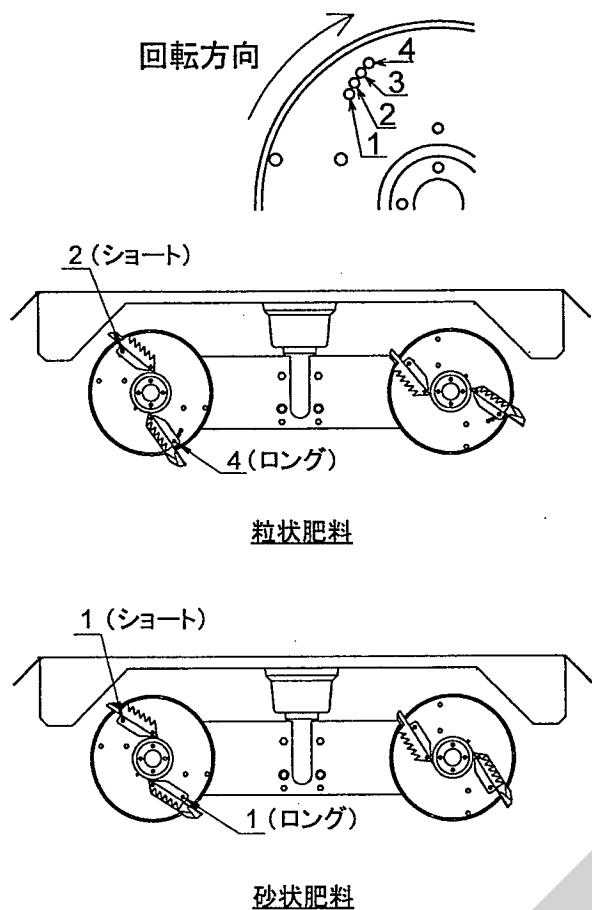
ブレードを動かし、ボルトで固定します。

工場出荷時は粒状肥料の位置(ロング4、ショート2)にセットしています。

c) 敷設性能は、肥料によって異なります。

基本位置で中央が濃くなる場合は、数字が大きくなる位置へ中央が薄くなる場合は、数字が小さくなる位置へブレードをセットし、散布してください。

但し、左右のセット位置は、同じにしてください。



4. シャッタの開閉

シャッタの開閉にトラクタの外部油圧を使用します。
複動の油圧取り出し口のあるトラクタを使用してください。

5. 最大積載量

型式	最大積載量
TBC17000	
TBC23000	2,000kg

取扱い上の注意

- 指定された積載量以上の積載はしないでください。
作業機の破損の原因になることがあります。
- 積載物はほぼ平坦になるように積載してください。

3 作業要領

▲ 警 告

- 運転中又は回転中、スピナーに接触すると巻き込まれ、ケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないでください。

- 作業機指定のP T O回転数を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをすることがあります。指定回転数を守ってください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねくことがあります。低速で作業してください。下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。

▲ 注意

- 散布作業中、飛散物が当り、ケガをすることがあります。周囲に人を近づけないでください。
- 運転中又は回転中、P I C軸に接触すると巻き込まれてケガをすることがあります。手を入れないでください。
- 肥料の投入をする時、エンジンをとめずに、あるいは、駐車ブレーキをかけずに行なうと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいは、トラクタや作業機が動き出し、ケガをすることがあります。エンジンをとめて、駐車ブレーキをかけて行ってください。
- 調整や付着物の除去などをする時、エンジンをとめずに、あるいは、駐車ブレーキをかけずに行なうと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいは、トラクタや作業機が動き出し、ケガをすることがあります。エンジンをとめて、駐車ブレーキをかけて行ってください。

1. 肥料の投入

移動中の振動による固まりを防ぐため、肥料の投入はほ場に着いてから行ってください。

作業前にホッパ容量と散布量を考慮し、あらかじめほ場各所に肥料を置いておくと能率の良い作業ができます。尚、大容量のフレコンパック肥料をホッパに投入する際は、低い位置で開口し、徐々にフレコンパックを引き上げてください。

取扱い上の注意

フレコンパックを吊り下げて、ホッパに投入する際は、フレコンパックの揺れがおさまっている事を確かめてから作業機に近づいてください。

2. 種子の散布

牧草種子及び細粒種子の散播の際には、種子と同比重のもの（例、オガクズ）を增量剤として混合してください。

増量剤を使用せず微量散布しますと散布の均一性が悪くなります。

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ

▲ 注意

- 作業後の手入れをする時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出し、事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業後の手入れをする時、エンジンをとめずに、あるいは、駐車ブレーキをかけずに行うと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいは、トラクタや作業機が動き出し、ケガをする事があります。
エンジンをとめて、駐車ブレーキをかけて行ってください。
- 調整や付着物の除去などをする時、エンジンをとめずに、あるいは、駐車ブレーキをかけずに行うと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいは、トラクタや作業機が動き出しケガをする事があります。
エンジンをとめて、駐車ブレーキをかけて行ってください。

1. ボルト、ナット、ピン類のゆるみ、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。異常があれば、ボルトの増し締め、部品の交換をしてください。
2. 作業終了時は水洗いし、ホッパ内の肥料をきれいに流してください。水洗い後、ホッパ内の水を切るためシャッタは開けてください。

2 トラクタからの切り離し

▲ 注意

- 作業機をトラクタから切り離す時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
切り離す時は必ずスタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。

1. トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
2. 作業機の車輪に輪止めをしてください。
3. トラクタの油圧取出口からカプラを切り離してください。
切り離した油圧ホースは束ねて、紐などで作業機に固定してください。
また、配線コードのコネクタを切り離してください。
4. 作業機のスタンドを立て、作業機のヒッチがトラクタのけん引ヒッチから浮き上がるまで、スタンドのハンドルを回してください。
5. ヒッチピンの抜け止めピンを外し、ヒッチピンを抜いてください。
6. トラクタのエンジンを始動し、静かに前進させ、けん引ヒッチから作業機のヒッチを外してください。
7. 取り外したヒッチピンは、抜け止めピンとともに、保管してください。

3 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 「2-3 納入箇所一覧表」に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、P T O軸、P I C軸、パワージョイントのスプライン部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、錆の発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検・整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。
機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- 点検調整をする時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出し、事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 点検整備をする時、エンジンをとめずに、あるいは、駐車ブレーキをかけずに行うと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいは、トラクタや作業機が動き出し、ケガをする事があります。エンジンをとめて、駐車ブレーキをかけて行ってください。
- 作業をする時、カバー類を外して作業すると、ケガをする事があります。点検整備の後は、カバー類を元通りに取り付けてください。

1 点検整備一覧表

時 間	チェック項目	処 置
新品使用 1 時間	全ボルト・ナットのゆるみ	増し締め
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ・ホッパ内の肥料 ②ハブナットのゆるみ ③タイヤの亀裂・損傷 ④タイヤの異常摩耗 ⑤タイヤの空気圧 ⑥部品脱落・破損部 ⑦各部のボルト・ナットの緩み ⑧各部油もれ ⑨各部の油脂類	増し締め 交換 交換 255kPa (2.6kg/cm ²) に調整 補充、交換 増し締め シールチェック、破損時交換 「2-3 純正部品一覧表」に基づき給油、給脂
シーケン終了後	①各部の破損、摩耗 ②タイヤ溝の深さ ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤回動支点等の摩耗 ⑥塗装損傷部 ⑦P I C軸等無塗装部	早めの部品交換 溝が浅ければ交換 「2-3 純正部品一覧表」に基づき給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布 グリースまたは油塗布

2 電球の交換

テールランプの電球を交換する際はレンズを取り外して行います。
電球は当社推奨の規格を使用してください。

	定 格	スタンレー 品番(参考)
ウインカー	12V 21W S25	BP4575B
尾 灯	12V 21W/5W S25	BP4875B
制動灯		

6 不調時の対応

▲ 注意

- 不調対応処置・点検・整備をする時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出し、事故を起こすことがあります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 不調対応処置・点検・整備をする時、エンジンをとめずに、あるいは、駐車ブレーキをかけずに行うと、思いがけない原因で作業機が駆動し、あるいは、トラクタや作業機が動き出し、ケガをすることがあります。
エンジンをとめて、駐車ブレーキをかけて行ってください。
- 作業をする時、カバー類を外して作業すると、ケガをすることがあります。
不調対応処置・点検・整備の後は、カバー類を元通りに取付けてください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルでケガをすることがあります。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
シャッタが動かない	<ul style="list-style-type: none">・開度調節部に肥料が詰まる・油圧カプラがきちんと接続されていない。・回動支点部がさび付いている。	<ul style="list-style-type: none">・清掃。・油圧カプラをきちんと接続する。・さびを取り除き、グリースを塗布する。
肥料がでない	<ul style="list-style-type: none">・使用している肥料の水分が高い	<ul style="list-style-type: none">・ホッパ内部を清掃し、乾燥した肥料を使用する。
ギヤボックスが異常発熱する	<ul style="list-style-type: none">・ベアリング、ギヤ、シャフトが損傷	<ul style="list-style-type: none">・部品交換
機体がふらつく	<ul style="list-style-type: none">・左右のタイヤの空気圧がアンバランス	<ul style="list-style-type: none">・左右共に 255kPa (2.6kg/cm²) に調整する。
	<ul style="list-style-type: none">・ハブナットがゆるんでいる。	<ul style="list-style-type: none">・増し締めする
	<ul style="list-style-type: none">・ハブベアリングの摩耗	<ul style="list-style-type: none">・キャッスルナットの増し締めまたはベアリングの部品交換

原因や処置の仕方がわからない場合は下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製 品 名
2. 部品供給型式 (型 式)
3. 製 造 番 号
4. 故 障 内 容 (できるだけ詳しく)

7 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください。）
- ④ 部品番号（部品表を参照してください。）
- ⑤ 個数（部品表を参照してください。）

※ 部品供給型式は取扱説明書・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 個数欄の 、 は、以下のことを表しております。

- … シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品
- … アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

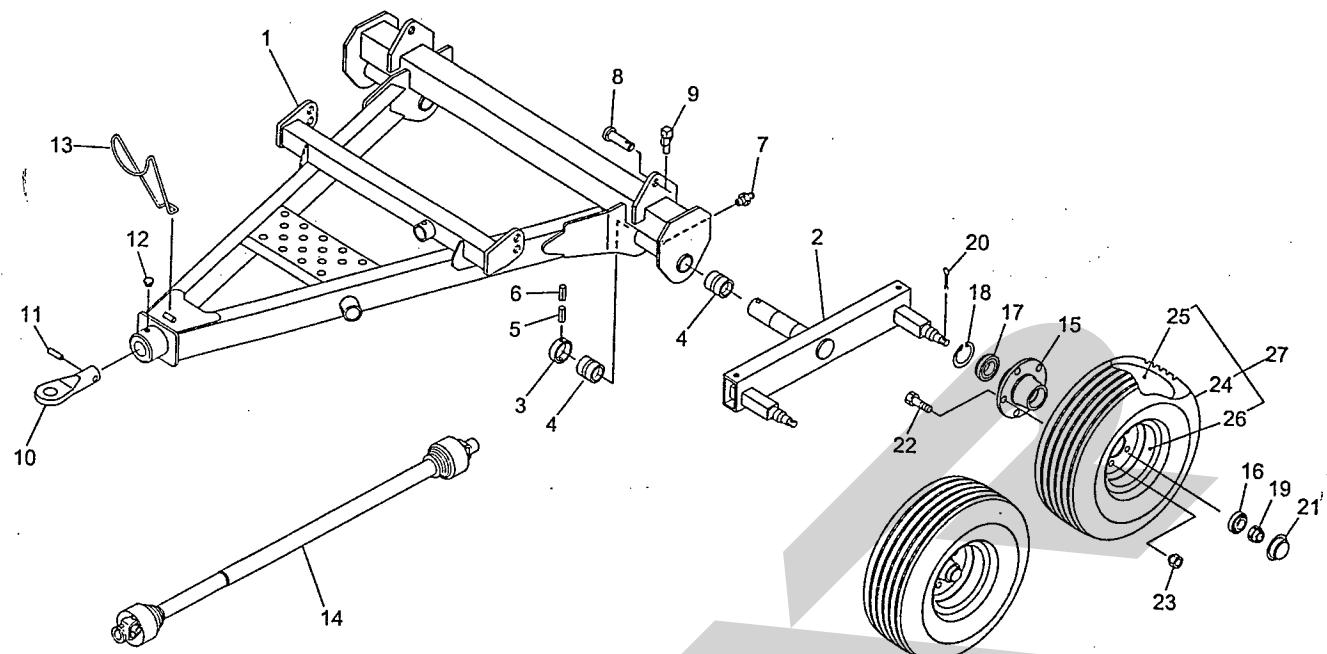
補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

ユニットの組み合わせについて

お買い上げいただきました、けん引式ブロードカスタ TBC23000 は次のユニットの組合せで構成されています。

TBC23000= ブロードカスタ本体+サブホッパユニット
TBC17000 UBE23000

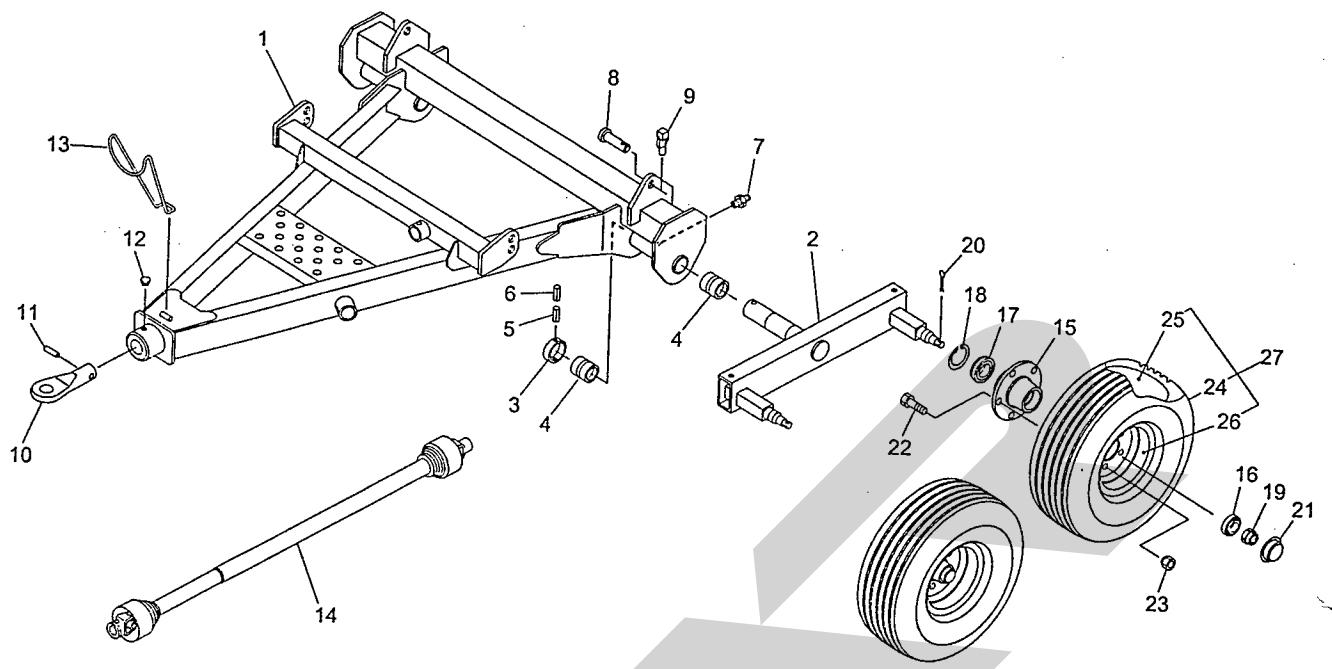
TBC17000・23000 ブロードカスタ
ケンイン



13437
065-0024-1002

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1314790004	ドローバCP	1	
2	1245250004	ハブツキシャジクCP	2	
3	124564000M	カラー; $\phi 58 \times 20$	2	
4	0665530000	ブッシュ	4	
5	PS100080W	スプリングピン ダブルヨウ 10×80	2	
6	PS060080W	スプリングピン ダブルヨウ 6×80	2	
7	ONAS1	グリースニップル A PT1/8	2	
8	093190000M	ピン	4	
9	000739000M	リンチピン; 9	4	
10	0767003004	ヒッチカン; $\phi 42$	1	
11	076701100M	ピン	1	
12	KMS017	アナヨウキャップ 17	1	
13	068168100M	プラケット メッキ	1	
14	JWS130ASY	パワージョイント WS-130	1	
15	0008730004	ハブ; F62×80	4	
16	J30206	テーパローラベアリング 30206	4	
17	J30208	テーパローラベアリング 30208	4	
18	0008740000	シールワッシャ; 40×80	4	
19	000712000M	キャッスルナット; M24×1.5	4	
20	PC040032	ワリピン 4×32	4	
21	000415000M	キャップ; 6.2	4	
22	0008700000	ボルト; M16×1.5×45	20	
23	0008710000	ホイールナット; M16×1.5	20	
24	0003790000	タイヤ AS; 10/80-12-6PR	4	
25	0003860000	チューブ; 10/80-12	4	

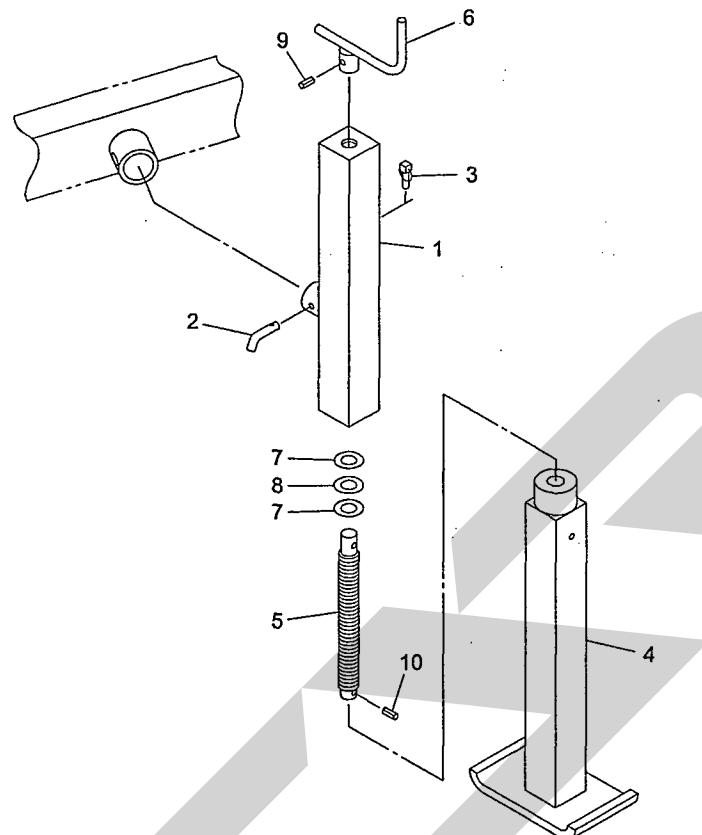
TBC17000・23000 ブロードカスター
ケンイン



13437

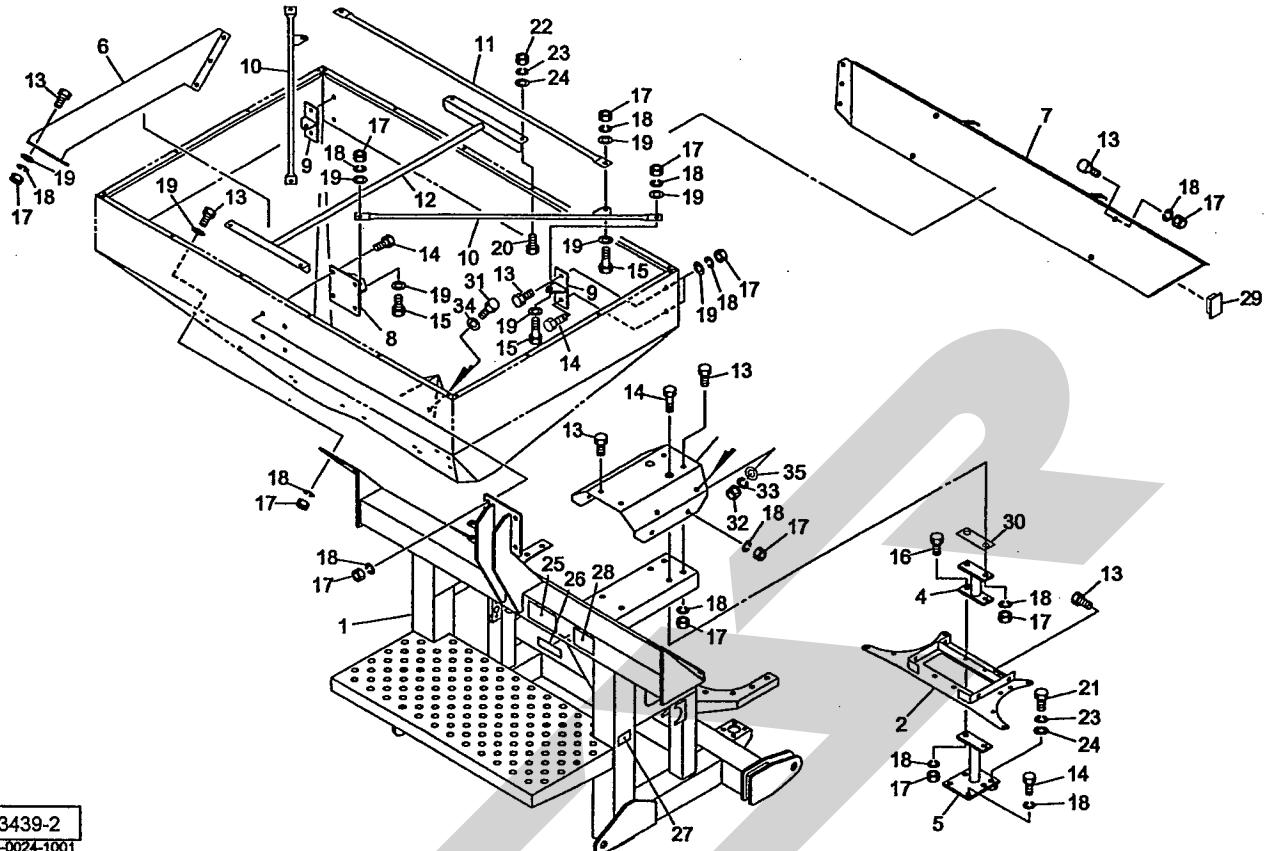
065-0024-1002

TBC17000・23000 ブロードカスタ スタンド



13438
065-0024-1003

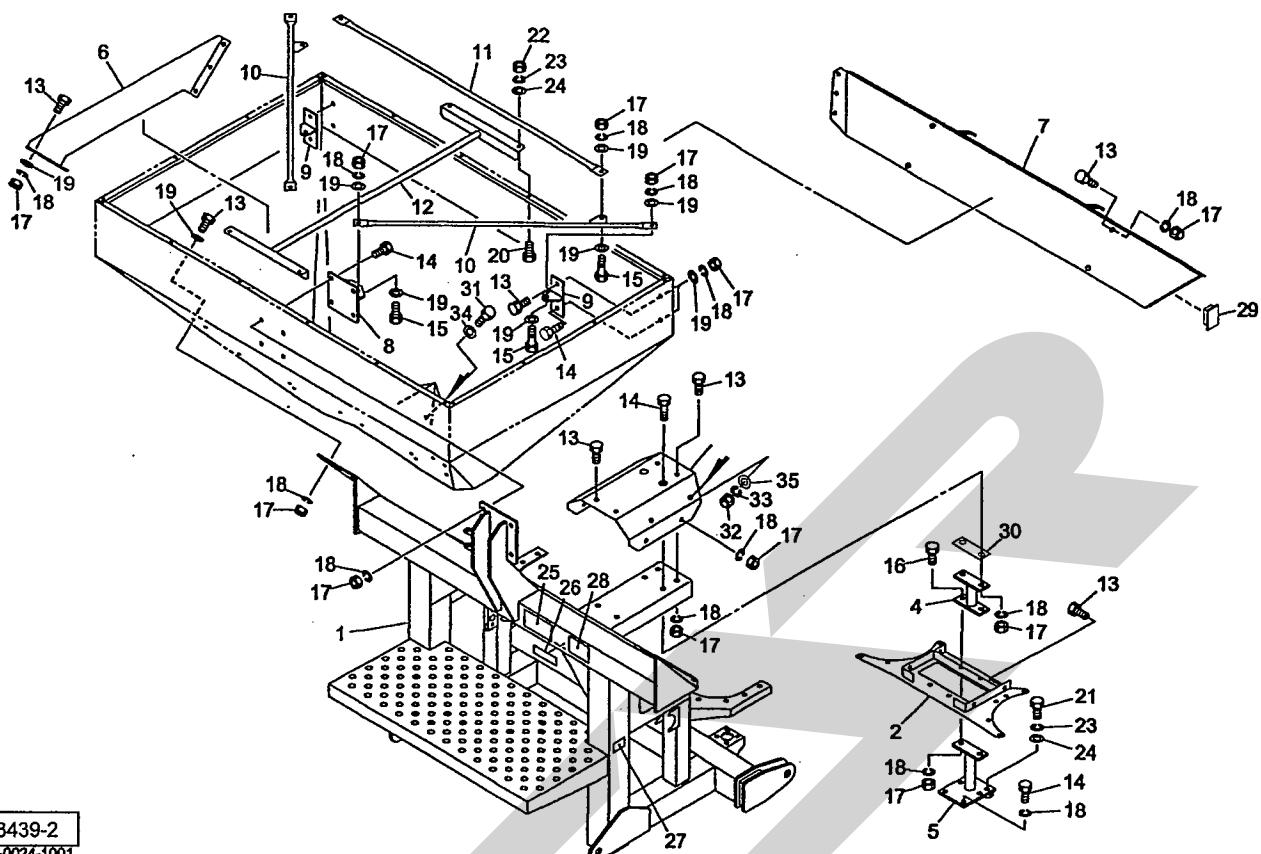
TBC17000・23000 ブロードカスタ
フレーム



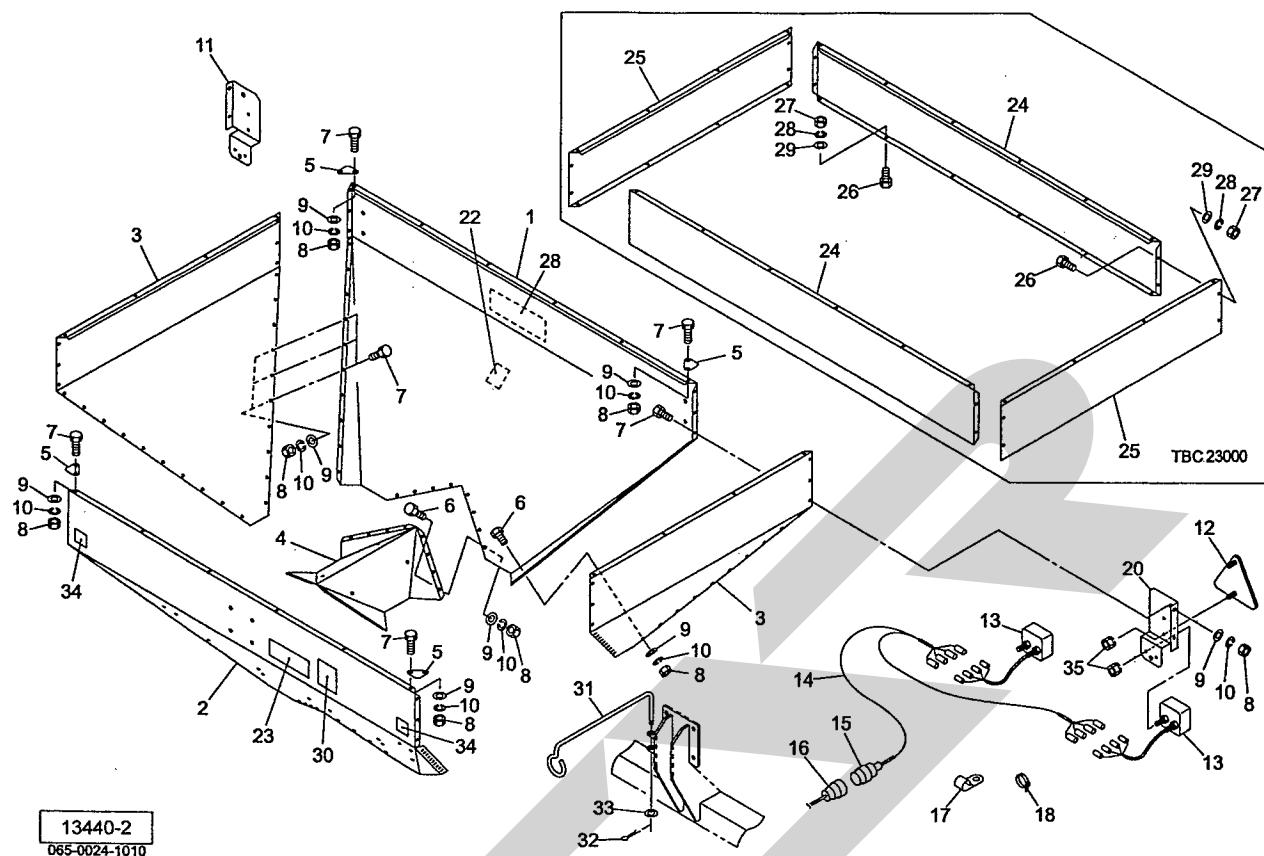
13439-2
065-0024-1001

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1314770003	メインフレームCP	1	
2	1296090003	ベースCP	1	
3	1295231003	チャンネル	1	
4	1296160003	ステーCP ; A	1	
5	1296210003	ステーCP ; B	1	
6	1296680004	シキリイタ	2	
7	1295890003	リヤサポートCP ; T	1	
8	1296530004	ブラケットCP ; F	1	
9	1296560004	ブラケットCP	2	
10	1296590004	パイプCP ; 1	2	
11	1296600004	パイプ	1	
12	1299220004	パイプCP ; 2	1	
13	BC10025	ボルト ステン M10×25	30	
14	BC10030	ボルト ステン M10×30	12	
15	BC10035	ボルト ステン M10×35	6	
16	BC10040	ボルト ステン M10×40	2	
17	NS10	ナット ステン 1シュ M10	50	
18	WSS10	バネザガネ ステン 2ゴウ M10	50	
19	0822960000	ワッシャ ; 10.5×3	28	
20	BC08020	ボルト ステン M8×20	4	
21	BC08016	ボルト ステン M8×16	2	
22	NS08	ナット ステン 1シュ M8	4	
23	WSS08	バネザガネ ステン 2ゴウ M8	6	
24	WRS08	ヒラザガネ ステン M8	6	
25	1301100000	ラベル ; セキサイリョウ 2000	1	

TBC17000・23000 ブロードカスタフレーム

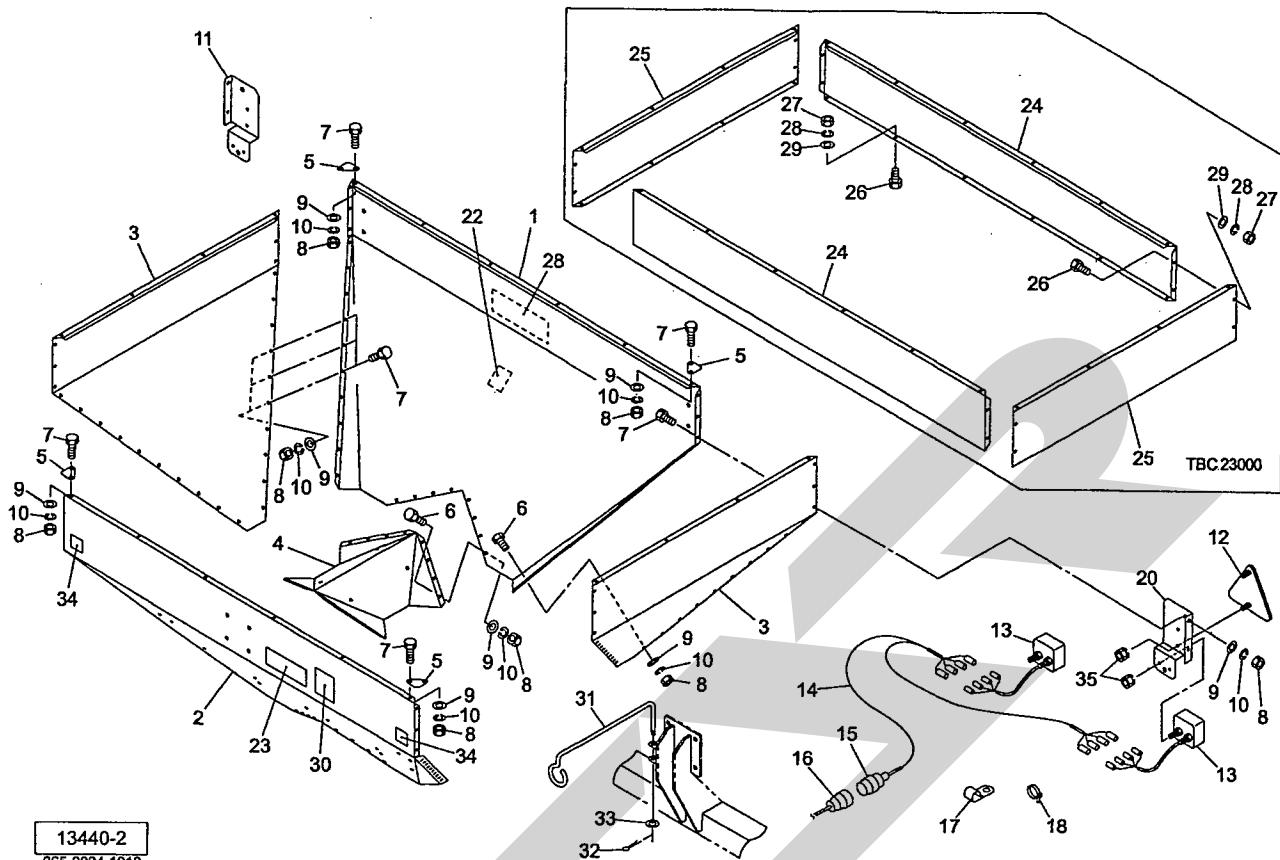


TBC17000-23000 ブロードカスタ
ホッパ

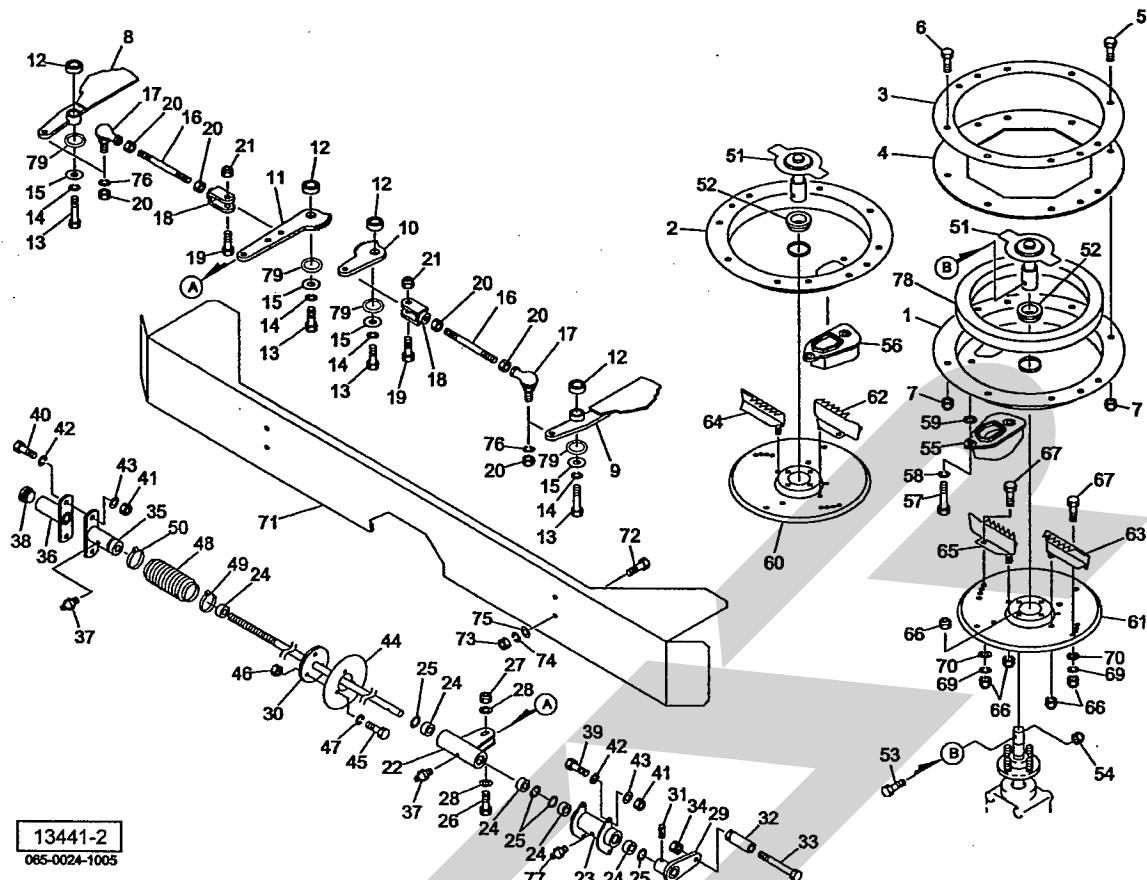


見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1295120000	ホッパ; RE	1	
2	1295130000	ホッパ; F	1	
3	1295140000	ホッパ; S	2	
4	1295151000	ホッパ; B	1	
5	1300990004	プレート	4	
6	BC08016	ボルト ステン M8×16	63	
7	BC08020	ボルト ステン M8×20	16	
8	NS08	ナット ステン 1シュー M8	79	
9	WRS08	ヒラザガネ ステン M8	79	
10	WSS08	バネザガネ ステン 2ゴウ M8	79	
11	1314450000	ブラケット; R	1	
12	0009300000	反射器; R-150TR (SナットM5付)	2	
13	1125520000	リヤランプ; 3F	2	
14	1163510000	コード; 11500×3.2	1	
15	1125540000	7ポールピン; 12V	1	
16	1125550000	7ポールソケット; 12V	1	
17	130496000M	クランプ	10	
18	ILT150	インシュロックタイ 3.5×152	5	
20	1314490000	ブラケット; L	1	
21	1232810000	STARマークラベル; 63	2	
22	1064180000	ラベル; ケイコク 37	1	
23	1065360000	ラベル; ケイコク 122	1	
24	1322730000	サブホッパ; FRE	2	TBC23000
25	1322740000	サブホッパ; LR	2	"

TBC17000・23000 ブロードカスター
ホツパ



ブロードカスタ
サンプユニット

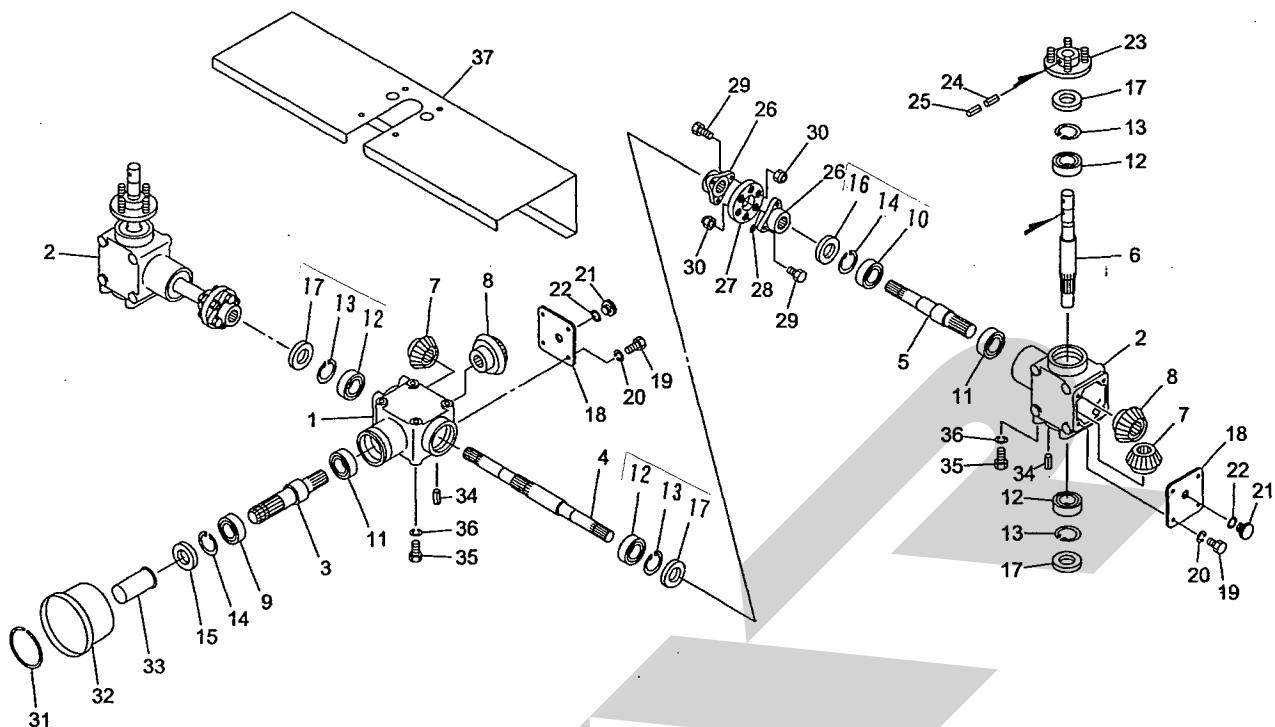


見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1295570000	ホッパプレートCP; L	1	
2	1295580000	ホッパプレートCP; R	1	
3	1296370003	プレート	2	
4	1296380000	ゴムプレート	2	
5	BC10030	ボルト ステン M10×30	4	
6	BC10035	ボルト ステン M10×35	16	
7	NNC10	ナイロンナット ステン M10	20	
8	1295490003	シャッタCP; R	1	
9	1295520003	シャッタCP; L	1	
10	1296390003	アームCP; L	1	
11	1296410003	アームCP; R	1	
12	KBB-2020B	カーボンドライベアリング B 20×23×20	4	
13	BC08016	ボルト ステン M8×16	4	
14	WSS08	バネザガネ ステン 2ゴウ M8	4	
15	1301000000	ワッシャ	4	
16	1296430000	ロッド	2	
17	1296520000	ロッドエンド	2	
18	079422000M	フォークエンド; 10×40	2	
19	BC10035	ボルト ステン M10×35	2	
20	NS10	ナット ステン 1シュー M10	6	
21	NNC10	ナイロンナット ステン M10	2	
22	1296440003	スライダーCP	1	
23	1296470003	ジクウケCP	1	
24	1297750000	ブッシュ	5	
25	DHC032	Cガタトメワ アナ 32	4	

プロードカスタ
サンプユニット

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
26	BC10045	ボルト ステン M10×45	1	
27	NNC10	ナイロンナット ステン M10	1	
28	0822960000	ワッシャ; 10.5×3	2	
29	1296490003	ハンドルCP	1	
30	130028000M	ロッドCP	1	
31	PS060032	スプリングピン 6×32	1	
32	0241180000	グリップ	1	
33	BC12100	ボルト ステン M12×100	1	
34	NS12	ナット ステン 1シュ M12	1	
35	1300150003	ボスCP	1	
36	1300180003	カバーCP	1	
37	ONA6	グリースニップル A M6	2	
38	1314730000	キャップ 34.0×3.2	1	
39	BC08020	ボルト ステン M8×20	4	
40	BC08025	ボルト ステン M8×25	2	
41	NS08	ナット ステン 1シュ M8	6	
42	WSS08	バネザガネ ステン 2ゴウ M8	6	
43	WRS08	ヒラザガネ ステン M8	6	
44	1300310000	セクタプレート	1	
45	BC06020	ボルト ステン M6×20	3	
46	NS06	ナット ステン 1シュ M6	3	
47	WSS06	バネザガネ ステン 2ゴウ M6	3	
48	0968361000	ブーツ	1	
49	0968680000	ステンレスクランプ; 32	1	
50	0968690000	ステンレスクランプ; 38	1	
51	1296742003	スクレーパCP	2	
52	1296810000	カラー	2	
53	BC08055	ボルト ステン M8×55	2	
54	NNC08	ナイロンナット ステン M8	2	
55	1128600003	シャットオフガイド; L	1	
56	1128610003	シャットオフガイド; R	1	
57	BC08020	ボルト ステン M8×20	4	
58	WSS08	バネザガネ ステン 2ゴウ M8	4	
59	WRS08	ヒラザガネ ステン M8	4	
60	1128381000	ディスク; R	1	
61	1128391000	ディスク; L	1	
62	1128401000	ショートブレードCP; R	1	
63	1128411000	ショートブレードCP; L	1	
64	1128462000	ロングブレードCP; R	1	
65	1128472000	ロングブレードCP; L	1	
66	NNC08	ナイロンナット ステン M8	12	
67	BC08016	ボルト ステン M8×16	4	
68	NS08	ナット ステン 1シュ M8	4	
69	WSS08	バネザガネ ステン 2ゴウ M8	4	
70	WRS08	ヒラザガネ ステン M8	4	
71	1300910000	スピナガード	1	
72	BC08020	ボルト ステン M8×20	4	
73	NS08	ナット ステン 1シュ M8	4	
74	WSS08	バネザガネ ステン 2ゴウ M8	4	
75	WRS08	ヒラザガネ ステン M8	4	
76	WSS10	バネザガネ ステン 2ゴウ M10	2	
77	ONB6	グリースニップル B M6	1	
78	1313710000	ゴムプレート	2	
79	0873081000	シム; 20.5×0.27	4	

ブロードカスタ
ギヤボックス

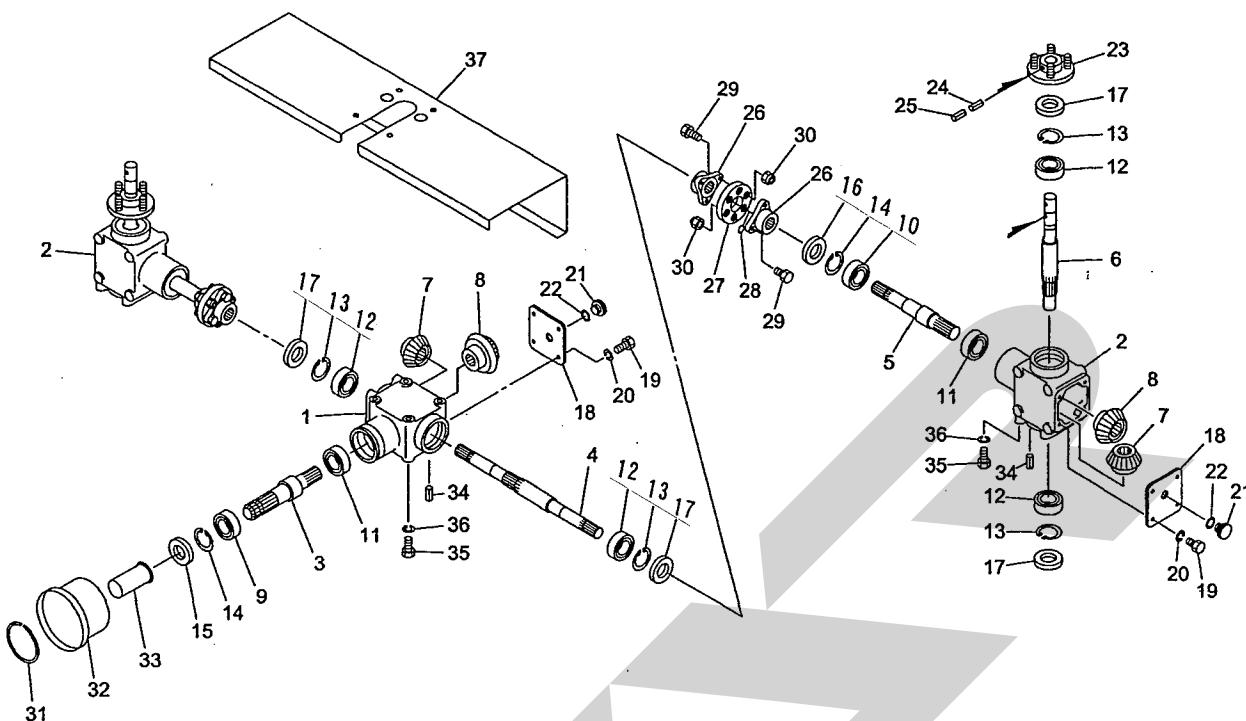


13442

065-0024-1004

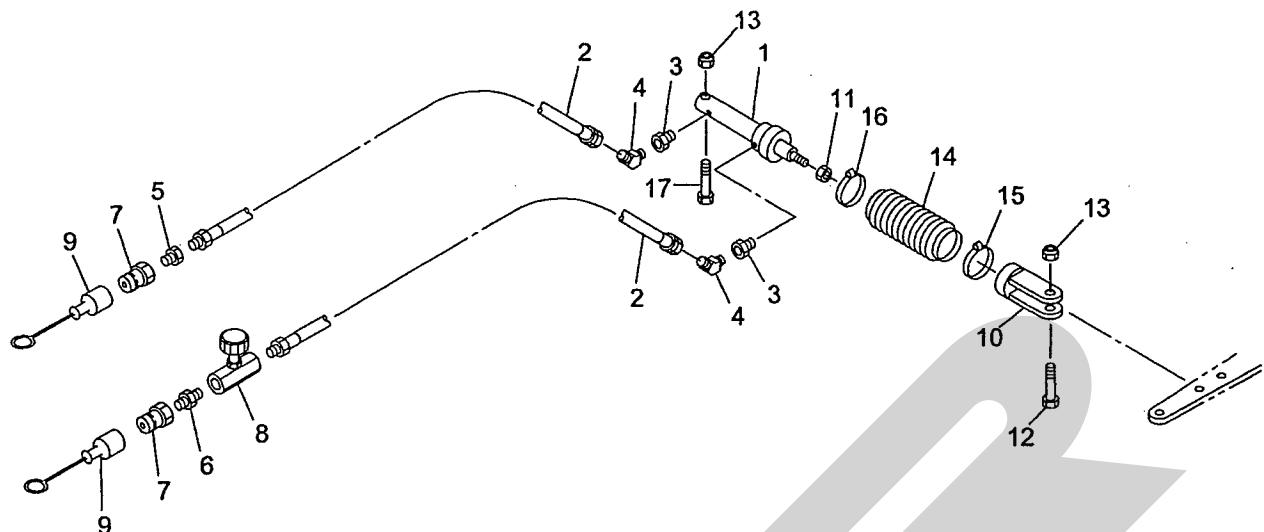
見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1295100003	スピナボックス；C	1	
2	1295020003	スピナボックス；S	2	
3	1295050002	P I C シャフト	1	
4	1295060003	センタシャフト	1	
5	1295070003	スピナシャフト；1	2	
6	1295080003	スピナシャフト；2	2	
7	1295030002	ベベルギヤ；15T	3	
8	1295040002	ベベルギヤ；21T	3	
9	J6007LLU	ボールベアリング 6007LLU	1	
10	J6206LLU	ボールベアリング 6206LLU	2	
11	J6206	ボールベアリング 6206	3	
12	J6205LLU	ボールベアリング 6205LLU	6	
13	DHC052	Cガタトメワ アナ 52	6	
14	DHC062	Cガタトメワ アナ 62	3	
15	D356210	オイルシール D35×62×10	1	
16	D306210	オイルシール D30×62×10	2	
17	D25528	オイルシール D25×52×8	6	
18	1296890003	プレート	3	
19	BSZ08020	コガタボルト 7 M8×20	12	
20	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	12	
21	0003480000	グリースセン	3	
22	0003280000	パッキン	3	
23	1182630003	フランジCP	2	
24	PS050040W	スプリングピン ダブルヨウ 5×40	2	
25	PS080040W	スプリングピン ダブルヨウ 8×40	2	

ブロードカスタ ギヤボックス



13442
065-0024-1004

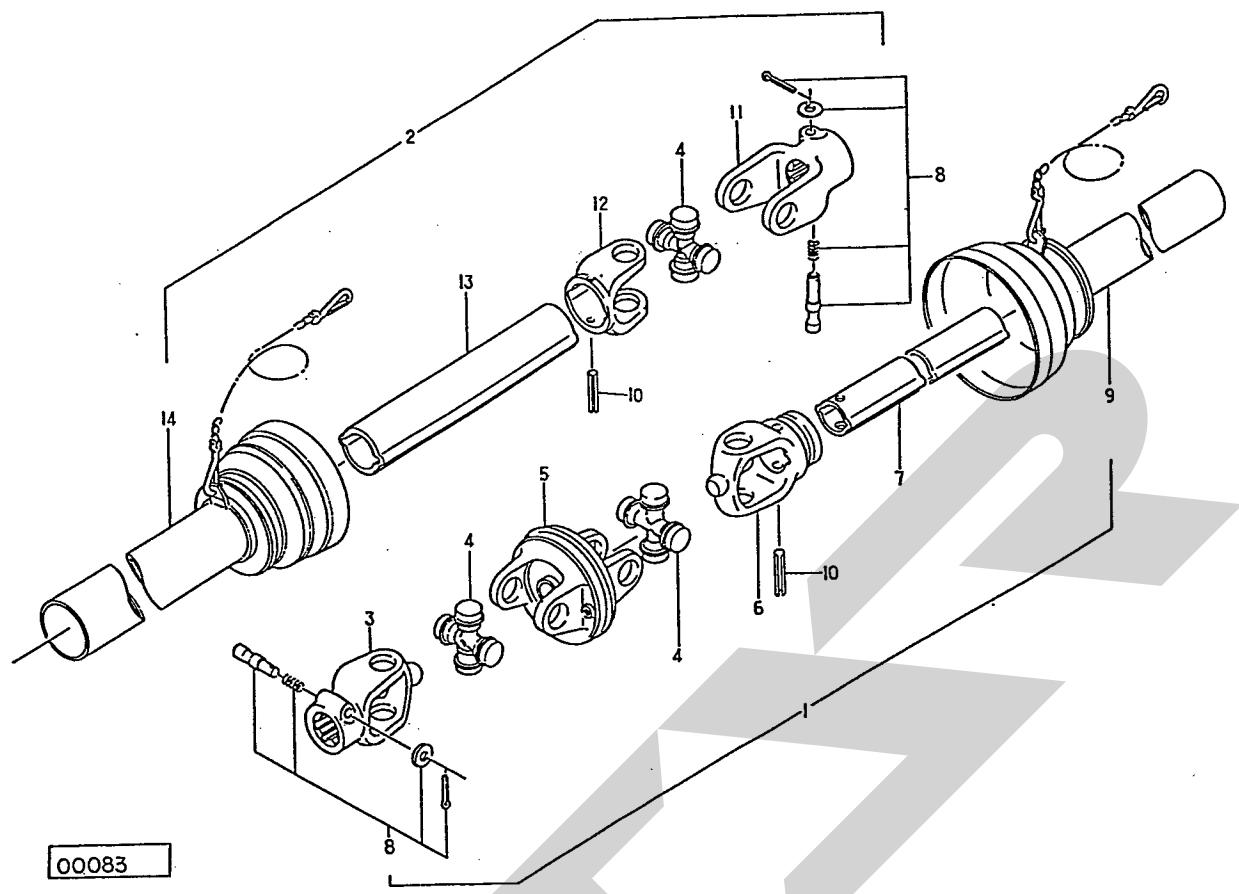
ブロードカスター
ユアツ



13443

065-0024-1007

WS-130
パワージョイント



本 社	066-8555	千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2 TEL0123-26-1123 FAX0123-26-2412
千歳営業所	066-8555	千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2 TEL0123-22-5131 FAX0123-26-2035
旭川営業所	070-8004	旭川市神楽 4 条 9 丁目 3 番 35 号 TEL0166-61-6131 FAX0166-62-8985
豊富営業所	098-4100	天塩郡豊富町字上サロベツ 1 1 9 1 番地 TEL0162-82-1932 FAX0162-82-1696
帯広営業所	080-2462	帯広市西 2 2 条 北 1 丁目 1 2 番地 TEL0155-37-3080 FAX0155-37-5187
北見営業所	090-0001	北見市小泉 3 0 2 TEL0157-24-3880 FAX0157-61-1344
中標津営業所	086-1152	標津郡中標津町北町 2 丁目 1 6 番 2 TEL01537-2-2624 FAX01537-3-2540
花巻営業所	025-0312	岩手県花巻市二枚橋第三地割 3 3 3 - 1 TEL0198-26-5741 FAX0198-26-5746
盛岡事務所	020-0173	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字根堀坂 552-3 TEL019-694-1661 FAX019-694-1662
仙台営業所	985-0845	宮城県多賀城市町前 2 丁目 4 番 27 号 TEL022-367-4573 FAX022-367-4846
小山営業所	323-0158	栃木県小山市梁 2 5 1 2 - 1 TEL0285-49-1500 FAX0285-49-1560
名古屋営業所	480-0102	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷 191 TEL0587-93-6888 FAX0587-93-5416
岡山営業所	700-0973	岡山県岡山市下中野 7 0 4 - 1 0 3 TEL086-243-1147 FAX086-243-1269
熊本営業所	862-0939	熊本県熊本市長嶺南 1 丁目 2 番 1 号 TEL096-381-7222 FAX096-384-3525
都城営業所	885-0004	宮崎県都城市都北町 3 5 3 7 - 1 TEL0986-38-1045 FAX0986-38-4644